

とちぎ女性活躍応援団事業【栃木県】

個別事業費	803 千円
交付金額	401 千円

地域の実情と課題

- 男性の非正規労働者の割合24.7%に対し、女性の非正規労働者の割合は53.1%
- 所定外労働時間の全国平均121時間に対し、本県は137時間
- 女性の有業率において、正規雇用労働者の比率が20代前半をピークに低下を続ける「L字カーブ」現象が生じている。
- 県内企業における育児休業制度整備率90.0%に対し、男性の育児休業取得率は28.7%と、女性の活躍やワーク・ライフ・バランスへの理解が進まず、男性が育児休業を取得できる環境となっていないと考えられる。

事業の特徴

- 女性の活躍を含めた働き方改革にオール栃木体制で取り組むため、官民連携による「とちぎ女性活躍応援団」により、女性の活躍推進の機運醸成や県内経済・地域の活力を高める。
- 女性も男性も働きやすい環境改善を図るため、女性活躍や働き方見直しに積極的に取り組み、成果を挙げる企業・事業所等を認定し、さらに、優秀企業に知事表彰を行い、その取組内容等を広く周知することにより県内企業等の自主的な取組の促進や県民への意識啓発を推進

事業の効果

とちぎ女性活躍応援団の登録団体数は目標値を大きく上回る1,532社となり、この応援団を核に、官民連携によるオール栃木体制で女性活躍の推進に取り組み、男女生き生き企業認定企業や表彰企業の取組状況等を輝くとちぎフォーラムや女性活躍応援専用サイト等により県内に広く周知したことにより、女性活躍や働きやすい職場環境づくりを推進することができた。

目的・目標

企業等による自主的な女性活躍の推進を図る。

- とちぎ女性活躍応援団の登録企業数：1,344社（R6年度末）
- 男女生き生き企業認定企業数：350社（R6年度末）
- 女性活躍専用サイト「とちぎウーマンナビ」アクセス数：14,000（R6年度末）
- 男女生き生き企業表彰企業数：3社（R6年度末）

連携団体

【連携体制】
とちぎ女性活躍応援団

【構成団体】
登録企業（R6末：1,532社）

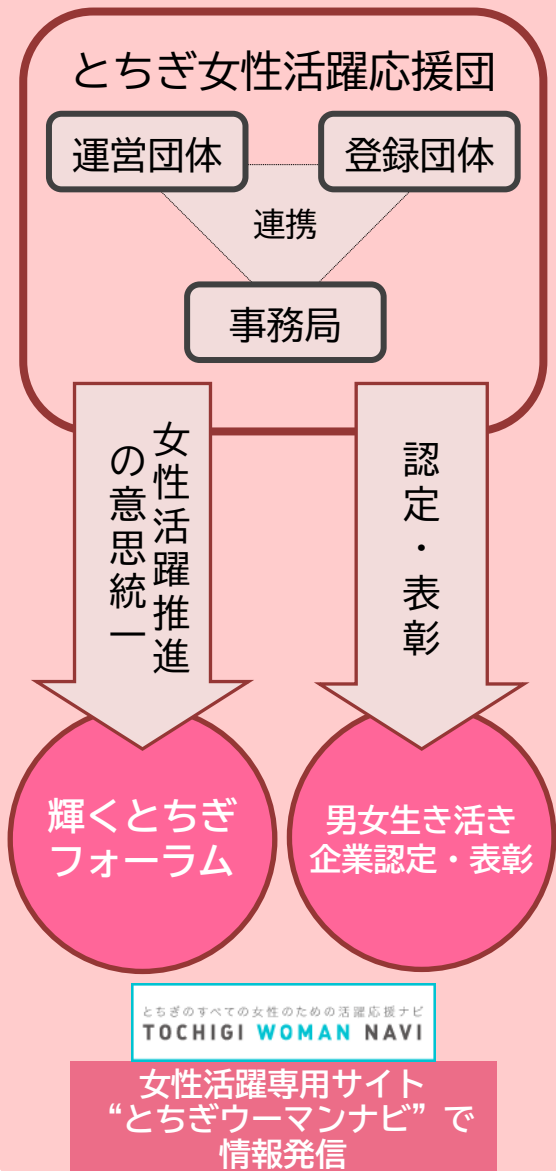
【運営団体】
栃木県経営者協会、栃木県経済同友会、栃木県商工会議所連合会、栃木県商工会連合会、栃木県中小企業団体中央会、日本労働組合総連合会栃木県連合会、栃木県医師会、栃木県看護協会、栃木県社会福祉協議会、栃木県農業協同組合中央会、栃木県農業者懇談会、栃木県林業振興協会、栃木県建設産業団体連合会、栃木県トラック協会、栃木県自治会連合会、栃木県女性団体連絡協議会、大学コンソーシアムとちぎ、足利銀行、栃木銀行、下野新聞社、日本放送協会 宇都宮放送局、栃木労働局、栃木県、栃木県市長会、栃木県町村会、とちぎ男女共同参画財団

今後の課題

「とちぎ女性活躍応援団」登録企業等数や「男女生き生き企業」認定数のさらなる増加に向けて、より効果的に事業の周知に取り組むとともに、女性活躍応援専用サイト等により認定企業や表彰企業の取組事例の周知にも引き続き取り組んでいく必要がある。

事業の概要

とちぎ女性活躍応援団事業



STEP 1

「とちぎ女性活躍応援団」登録

知事をトップにオール栃木体制で女性の活躍や働き方の見直しをする「とちぎ女性活躍応援団」に登録

STEP 2

いい仕事いい家庭つぎつぎとちぎ宣言

交付金対象外

「従業員の仕事と家庭の両立」と「女性の活躍」を応援するために企業等が取り組む内容を宣言

STEP 3

「男女生き生き企業」認定

女性活躍の推進や働き方見直しに積極的に取り組み、誰もがいきいきと働けることを目指している企業等を「男女生き生き企業」として認定

STEP 4

「男女生き生き企業」表彰

「男女生き生き企業」の認定を受けた企業の中から、優れた取組を募集し企業規模別に表彰

【令和6年度実績】

- ◆応援団登録数 1,532団体
- ◆男女生き生き企業認定数 342社
- ◆男女生き生き企業表彰 3社

⇒輝くとちぎフォーラムにおいて、
表彰及び表彰企業による優良事例の発表

One-up! WOMAN 輝くとちぎフォーラム

令和6(2024)年
12月26日 土
13:30~16:30 (開場13:00)

参加費 無料

定員 400名 (先着順)

会場 栃木県総合文化センター サブホール(宇都宮市東町1-8)

★表彰式・トークセッション
「男女生き生き企業」表彰
女性の活躍推進やワーク・ライフ・バランス推進のためのヒントがいっぱいのイベントです！
★こども達からのメッセージ
「G7 レガシー」とちぎ未来会議」成果発表
輝くとちぎフォーラムが男女生き生き企業について発信した取組について、代表企業が発表します。